

令和6年度 水道事業概況

人口減少に伴う給水収益の減少で、収益的収入総額は減収となりました。

投資面では、再構築事業計画に基づいた老朽施設の更新と管路の耐震化、機能の向上に、引き続き取り組みました。

また、令和6、7年度で、8年度以降の10年間を計画期間とする次期水道事業経営戦略の策定に取り組んでおり、熊本県荒尾市との共同施設であるありあけ浄水場の維持管理業務委託期間が令和8年度までとなっていることから、次期委託に向けた準備をこれまでの経過を踏まえながら両市共同で進めています。

(1) 給水状況

- ・令和 6 年度末 給水戸数 53,134 戸 給水人口 101,820 人
令和 5 年度比 368 戸 1,975 人の減
 - ・年間給水量 9,736,366 m³ 年間有収水量 9,733,839 m³
令和 5 年度比 154,798 m³ 154,974 m³ の減

(2) 財政状况

- ・収益的収入総額 2,537,499,542 円
 令和 5 年度比 12,440,185 円の減

 給水収益 2,185,927,028 円
 令和 5 年度比 29,581,162 円の減
 - ・収益的支出総額 2,341,424,801 円
 令和 5 年度比 61,409,774 円の増（減価償却費、人件費、負担金等の増）

収支差額 196,074,741 円の純利益、平成 21 年度から 16 年連続の黒字決算